

授業名	地域創生学ゼミナールⅡ - I [QT1]	学期	2021年度 春学期
担当者	出川 真也		
テーマ	地域創生人材育成研究を設計する		
授業の目的	地域創生人材育成研究を推進していくために必要な調査設計に関する基礎知識・技能を習得する。社会教育・生涯学習論の理論及び方法を援用しながら、受講学生各自の興味関心を卒業研究として取り扱うための論点整理を行い、研究設計を取りまとめる。		
授業の到達目標・DPとの関連性	①地域づくりに関わる教育・学習理論の諸概念について、自分なりの理解を通じて説明できる。 (地域創生DP②) ②地域の課題を探索し分析できる (地域創生DP⑤) ③社会教育・生涯学習の理論や知識と地域の課題を結びつけ、解決策等を考えることができる。 (地域創生DP④)		
DP参照ページ	大正大学3つのポリシー, https://www.tais.ac.jp/faculty/tais_policy/		
授業形態	受講学生による発表を中心とした演習形式で行う(マイクロソフトチームスも利用する予定)		
テキスト	出川真也(編著)2020「学習・交流活動の波及的展開と地域教育実践への挑戦」大正大学社会教育主事課程 出川真也(編著)2019「多様な学びが拓くコミュニティづくりの可能性」大正大学社会教育主事課程 出川真也(編著)2018「コミュニティの能力を高める学びの創出」大正大学社会教育主事課程 出川真也(編著)2017「地域に根ざした学びと地域づくり」大正大学社会教育主事課程 出川真也(編著)2016「地域づくり学習フィールドワーク手引き」大正大学社会教育主事課程 ※以上のテキストは次のURLからダウンロードしてください 地域創生の教育学, https://degawaken.com/ 資料室(研究室) ページよりダウンロードできます。		
参考文献	E. ハミルトン著、田中雅文、笹井宏益、廣瀬隆人訳2003「成人教育は社会を変える」玉川大学出版部 E.Hamilton, 1992, Adult Education for Community Development, Greenwood Press		
評価方法	・ 報告内容(到達目標①②③) ・ 討議への参加態度(到達目標①②③)		
前提科目	-		
授業計画	授業計画 第1回 【授業内容】ガイダンス 他ゼミと合同開催 【事前学習】3年次ゼミの内容について振り返りしておく 【事後学習】授業時に教員が説明した内容や配布した資料等を復習しておく 第2回～第6回 【授業内容】 回発表者を決めて、社会教育・生涯学習論を念頭に置きながら、各自の研究設計について、他のメンバーに向けて内容の説明をもらう。 【事前学習】 事前に指示した資料を読んでおくこと。また報告担当学生はスライド・レジュメ等の準備を行う。 【事後学習】 授業時に記録したノート類や配布された資料等を復習しておく 第7回 【授業内容】卒業研究計画の発表 【事前学習】卒業研究のテーマを説明する準備を事前に完了しておくこと 【事後学習】授業で扱った内容や配布した資料等を復習しておく		
統括的な留意事項	学修内容を有効に深めるため、3年次ゼミナール(地域創生学ゼミナールⅠ-I)と合同で行う回を数回設ける予定です。学生からの報告が中心の授業となりますので、各自しっかり準備をしてください。		